

2015.10、11月号

# 都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



## 【目次】

- ・平成 27 年度土地活用モデル大賞受賞プロジェクト選定結果並びに表彰式の開催について P 1
- ・平成 27 年度土地月間記念講演会を開催 P 2
- ・アーバンインフラ・テクノロジー推進会議  
第 27 回技術研究発表会開催結果 P 3
- ・平成 27 年度記念講演会（平成 27 年 11 月 10 日開催） P 4
- ・アーバンインフラ・テクノロジー推進会議  
第 22 回交流展示会開催結果 P 5
- ・機構の活動状況 P 6

## § 平成 27 年度土地活用モデル大賞受賞プロジェクト選定結果並びに表彰式の開催について

当機構では、国土交通省の後援をいただき、今年度も土地活用モデル大賞を開催致しました。全国から 11 プロジェクトの応募をいただき、一次審査で 8 プロジェクトを選定、最終審査で国土交通大臣賞 1 点、都市みらい推進機構理事長賞 1 点、審査委員長賞 3 点の計 5 プロジェクトを選定し、去る 10 月 28 日にアルカディア市ヶ谷におきまして表彰式を開催いたしました。

### 選定結果

- 国土交通大臣賞（1 点）**
  - ・小杉町 3 丁目中央地区第一種市街地再開発事業（セントア武蔵小杉）【所在地：神奈川県川崎市】
- 都市みらい推進機構理事長賞（1 点）**
  - ・釜石市中島町復興公営住宅整備事業【所在地：岩手県釜石市】
- 審査委員長賞（3 点）**
  - ・浜見平地区複合施設整備事業（BRANCH 茅ヶ崎）【所在地：神奈川県茅ヶ崎市】
  - ・もりのみやキューズモール BASE【所在地：大阪府大阪市】
  - ・自然の森と地下鉄駅が一体となった新しい都心空間の創造（大手町タワー）  
【所在地：東京都千代田区】

### 表彰式



【国土交通省 長谷川土地・建設産業局次長の来賓挨拶】



【受賞者記念撮影の様子】



**審 査**

**審査経過**

- ・ エントリー用紙の提出締切り 平成 27 年 7 月 10 日 (金)
- ・ 応募図書の提出締切り 平成 27 年 7 月 31 日 (金)
- ・ 1 次審査の実施 (7 地区を選定) 平成 27 年 8 月 25 日 (火)
- ・ 現地調査の実施 平成 27 年 9 月上旬～9 月下旬
- ・ 最終審査の実施 (5 地区を選定) 平成 27 年 10 月 5 日 (月)
- ・ 表彰式 (アルカディア市ヶ谷にて開催) 平成 27 年 10 月 28 日 (水)

**審査基準**

審査委員会において、以下の4つの審査基準をもとに審査が行われ、優秀作品を選定しました。

- ・ 「課題対応性 (地域の課題や経済・社会的な課題への適切な対応)」
- ・ 「先導性 (周辺への触発効果や他のプロジェクトに対する影響 (インパクト) など)」
- ・ 「独創性 (手法や仕組みの新しさ)」
- ・ 「汎用性 (他地域での応用のしやすさ)」

土地活用モデル大賞は、優れた土地活用を全国的に紹介しその普及を図るために、土地の有効活用や適切な維持管理に取り組み、土地活用の模範的事例、いわば「成功モデル」に着目した事例を募集し、優れた事例について「国土交通大臣賞」をはじめとする表彰を行うものです。

**§ 平成 27 年度土地月間記念講演会を開催**

国土交通省では毎年 10 月を「土地月間」と定め、土地の有効活用促進に向けたイベントを数多く行っておりますが、当機構でも、こうした国土交通省の開催趣旨に賛同して、毎年標記イベントを開催しております。

今年も前年と同様に土地活用モデル大賞表彰式との併催とし、表彰式に引き続いて講演会を開催いたしました。

講演会につきましては、一般財団法人土地総合研究所、一般財団法人土地情報センター、一般財団法人不動産適正取引推進機構、公益財団法人不動産流通推進センターにご協力を頂き、5 団体の共催で、国土交通省、一般財団法人日本不動産研究所、(財)民間都市開発推進機構、(株)日本政策投資銀行にご後援を頂いて開催いたしました。

講演会の内容を以下にご紹介いたします。

**1. 「国土形成と土地の有効活用」**

国土交通省 土地・建設産業局不動産市場整備課長 中田 裕人 氏

大都市及び地方都市の現状と課題を踏まえて、今後の国土形成についてのご説明を頂き、また土地活用をめぐる最近の話題等について、事例等を踏まえてご説明いただきました。



(国土交通省 不動産市場整備課長 中田 裕人 氏)

**2. 平成 27 年度土地活用モデル大賞受賞プロジェクトの概要説明**

土地活用モデル大賞 国土交通大臣賞並びに都市みらい推進機構理事長賞の受賞プロジェクトの方より、受賞プロジェクトの概要をご説明頂きました。

**【国土交通大臣賞】**

◆小杉町 3 丁目中央地区第一種市街地再開発事業 (セントア武蔵小杉)

・ (株)アール・アイ・エー専務取締役 …………… 野久保 洋 氏

**【都市みらい推進機構理事長賞】**

◆釜石市上中島町復興公営住宅整備事業

・ 新日鉄興和不動産(株)企業不動産開発本部不動産開発企画部  
釜石事業所長 …………… 鈴木 誠治 氏

**【審査委員長賞】**

◆浜見平地区複合施設整備事業 (BRANCH 茅ヶ崎)

・ 大和リース(株)横浜支店流通建築リース営業所営業所長 …………… 内野 俊樹 氏

◆ものりみやキューズモール BASE

・ 東急不動産(株)都市事業ユニット都市事業本部関西事業部統括部長 … 栗辻 稔泰 氏

◆自然の森と地下鉄駅が一体となった新しい都心空間の創造 (大手町タワー)

・ 東京建物(株)理事 …………… 高野 一郎 氏



3. 記念講演「首都直下地震を想定した東京の事前復興街づくり」  
・早稲田大学理工学術院 教授 …………… 佐藤 滋 氏

昨今、話題になっている首都直下地震等を想定した東京の事前復興まちづくりについて、阪神・淡路大震災での経験を踏まえて地域協働復興の可能性や課題等について具体の事例を交えながら、今震災に備えて私たちが何をやるのがベストであるかについて、わかりやすくご講演を頂きました。



(早稲田大学理工学術院 教授 佐藤 滋 氏)

§ アーバンインフラ・テクノロジー推進会議  
第27回技術研究発表会開催結果

高度で豊かな都市社会の構築を目指す「アーバンインフラ・テクノロジー推進会議」では、その実現に寄与するための諸事業の一つとして、11月に第27回技術研究発表会（会場：丸ビルコンファレンススクエア）を開催いたしました。今年のテーマは「都市を再興する技術とマネジメント」として論文およびプロジェクト技術報告の発表が行われました。

日時：11月10日（火）13:15～19:30  
場所：丸ビルコンファレンススクエア 8階  
（東京都千代田区丸の内2-4-1）  
主催：アーバンインフラ・テクノロジー推進会議  
後援：国土交通省、東京都、（独）都市再生機構、  
（一財）都市みらい推進機構



【挨拶：黒川会長】



【来賓：清水官房  
技術審議官】



【発表会場の様子】

◆開会式

開会式では、当推進会議 黒川 洸 会長（東京工業大学名誉教授）の挨拶に続き来賓を代表して、清水 喜代志 国土交通省官房技術審議官よりご挨拶をいただきました。

◆発表

技術研究発表会では、「環境・エネルギー」「情報・防災・交通」「地域再生・まちづくり」の3部門の論文発表に加え、作年度に引き続き今年度もアーバンインフラストラクチャーとテクノロジーに関する技術開発、先端的な技術を適用した事例、構想等についてパワーポイント、ビデオ、映像等で発表する「プロジェクト技術報告」を行いました。



【高橋論文審査委員長】



【黒川会長から受賞者へ賞状の授与】

◇発表内訳

A 環境・エネルギー	8編	B 情報・防災・交通	8編
C 地域再生・まちづくり	8編	D プロジェクト・技術報告	7編

◆論文審査委員会

発表終了後、別室の技術交流部会・論文審査委員会において厳正なる審査を行いました。

◆閉会式・授与式

閉会式では、高橋 洋二 論文審査委員長の講評に引き続き、優秀論文各賞受賞者が発表され、黒川会長よりの賞状授与を行いました。

優秀賞は各部門1編ずつ計3編、奨励賞は各部門2篇ずつ計6編が表彰されました。

受賞論文は、次頁のとおりです。



A 環境・エネルギー

受賞	No.	所属	論文代表者	発表者名	論文著者名
優秀賞	A03	株式会社 竹中工務店	加藤 利崇	同左	株式会社竹中工務店 加藤 利崇
	タイトル	あべのハルカスにおける厨房排水と厨芥からのエネルギー回収			
奨励賞	A02	鹿島建設 株式会社	柵瀬 信夫	同左	鹿島建設株式会社 柵瀬 信夫
	タイトル	江戸前・ウナギ保護再生デザイン			
奨励賞	A07	大成建設 株式会社	梶山 隆史	田中 拓也	大成建設株式会社 梶山 隆史 大成建設株式会社 田中 拓也
	タイトル	大成建設「ZEB実証棟」の計画と実施 ～都市型ZEBを目指して～			



【挨拶：小張技術交流部会長】

B 情報・防災・交通

優秀賞	B02	新潟市	藤下 真悟	同左	新潟市 藤下 真悟
	タイトル	BRT 導入とバス路線再編からなる新バスシステムの取り組み			
奨励賞	B01	清水建設 株式会社	吉武 謙二	同左	清水建設株式会社 吉武 謙二 清水建設株式会社 林 大輔 清水建設株式会社 滝本 和志 清水建設株式会社 磯田 和彦 清水建設株式会社 丹 博美 首都高速道路株式会社 蔵治 賢太郎 首都高速道路株式会社 和田 新 首都高速道路株式会社 右高 裕二
	タイトル	慣性質量ダンパーを用いた同調型橋梁制震機構の開発			
奨励賞	B04	松山市	石井 朋紀	同左	松山市 石井 朋紀
	タイトル	遅い交通とまちづくり ～都市改変の事業の合意形成～			



【挨拶：矢野理事長】



【乾杯：英 市街地整備課長】

C 地域再生・まちづくり

優秀賞	C08	千葉市	河野 俊郎	同左	千葉市 河野 俊郎
	タイトル	公園等における民設民営での賑わい施設整備			
奨励賞	C05	豊田市	甲村 尚義 孕石 竜也	豊田市 甲村 尚義	
	タイトル	景観資源を活かした農山村地域の再生 ～足助香嵐渓地区のまちづくり～			
奨励賞	C06	神戸市	秋田 大介	同左	神戸市 秋田 大介
	タイトル	神戸の都心の将来ビジョン及び三宮周辺地区再整備基本構想の策定			

◆意見交換会

引き続き意見交換会では、小張 貴史 技術交流部会長の挨拶、矢野 進一（一財）都市みらい推進機構 理事長の挨拶、英 直彦 国土交通省市街地整備課長の乾杯音頭により開会し、清水 喜代志 国土交通省官房技術審議官にご挨拶いただき、盛大に実施しました。



【意見交換会会場の様子】

## § 平成 27 年度記念講演会 (平成 27 年 11 月 10 日開催)

第 27 回技術研究発表会の論文発表に引き続き、中村 健一：国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室長に「都市開発とマネジメント」と題して、ご講演をいただきました。

【講演について】

日 時：平成 27 年 11 月 10 日（火）16 時 40 分～17 時 25 分

会 場：丸ビルコンファレンススクエア Room4（東京都千代田区丸の内 2-4-1）

演 題：『都市開発とマネジメント』

講 師：国土交通省 都市局まちづくり推進課 官民連携推進室長 中村健一 氏

【主な内容】

1. 都市再生制度の概要

- ・都市再生の意義・施策の経緯
- ・都市再生の制度に関する基本的な枠組み
- ・民間都市開発の推進
- ・認定民間都市再生事業計画の所在について
- ・公共公益施設整備の促進
- ・主要駅周辺等の帰宅困難者対策
- ・ビジネス環境等改善・シティセールス支援事業
- ・都市再生整備計画
- ・にぎわい・交流の創出のための道路占用許可の特例（平成 23 年～）の概要
- ・都市利便増進協定（平成 23 年～）の概要
- ・都市再生推進法人（平成 19 年～）の概要
- ・民間まちづくり活動促進・普及啓発事業
- ・都市環境維持・改善事業資金融資（エリアマネジメント融資）
- ・まち再生出資の概要
- ・住民参加型まちづくりファンド支援の概要
- ・エリアマネジメントと都市再生について
- ・都市再生に関するエリアマネジメントへの支援制度
- ・都心部におけるエリアマネジメントの事例



## 2. 都市マネジメントのあり方、大都市戦略

- ・新たな時代の都市マネジメント小委員会
- ・【概要】新たな時代の都市マネジメントはいかにあるべきか（中間とりまとめ）
- ・大都市戦略検討委員会
- ・【概要】大都市戦略～次の時代を担う大都市のリノベーションをめざして～
- ①「都市再生の好循環」の加速（首都圏）（関西圏・名古屋圏）

- ② 大都市「コンパクト＋ネットワーク」の形成  
大都市圏の鉄道沿線における高齢者等が生活しやすい環境づくり
- ③ 「災害に強い大都市」の構築

## 3. コンパクトシティ＋ネットワークに関する最近の動き

- ・コンパクトシティ・プラス・ネットワークの形成
- ・（参考）立地適正化計画の作成に取り組む都市
- ・（参考）地域公共交通網形成計画に取り組む団体
- ・コンパクトシティの推進に向けた施策の方向性

- ・コンパクトシティ形成支援チーム／支援チーム構成員
- ・連携施策ワーキンググループ（連携WG）について
- ・コンパクトシティのモデル都市の形成・横展開

## 4. 平成 28 年度都市局概算要求概要

- ・平成 28 年度都市局関係予算概算要求概要

## 5. 最後に

- ・アーバンテクノロジーの情報発信に関する取り組み
- ・アーバンテクノロジーの情報発信に関するイメージ
- ・具体的な取り組み内容  
（今年度）UIT 等官民連携プラットフォームと情報発信に向けた体制構築  
（次年度以降）官民連携プラットフォームを活用した各種取り組みの展開
- ・MIPIM JAPAN-ASIA PACIFIC 2016



【ご講演の様子：中村健一 氏】



【会場の様子】

## § アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 第 22 回交流展示会開催結果

昭和 63 年の創立以来、産・学・官の交流を基本理念に、都市インフラ技術の開発・啓蒙・普及と活用によって都市基盤整備の促進を図り、豊かな都市社会の実現に寄与することを目的に展示会を開催して参りました。今年も、第 27 回技術研究発表会と同じ会場である丸ビルコンファレンススクエアにおいて、テーマを「地域再生の技術とマネジメント」として同日開催しました。

1. 主催 アーバンインフラ・テクノロジー推進会議
2. 後援 国土交通省、東京都、独立行政法人都市再生機構、一般財団法人都市みらい推進機構
3. 協力 三菱地所株式会社
4. 名称 第 22 回交流展示会 ―アーバンクリエーション 2015―
5. テーマ 地域再生の技術とマネジメント
6. 日時 平成 27 年 11 月 10 日（火）10 時～16 時 30 分
7. 場所 丸ビルコンファレンススクエア 8F（東京都千代田区丸の内 2-4-1）
8. 出展者 12 団体

<8 階> 東京都／さいたま市／独立行政法人都市再生機構／公益社団法人日本交通計画協会／一般財団法人民間都市開発推進機構／北海道美瑛町／岩手県紫波町／長野県小諸市／静岡県長泉町／愛知県豊田市／大阪府岸和田市／大分県竹田市



7 階案内ポスター



8 階会場 パネル展示



8 階会場 映像およびパンフレット展示



8 階会場 閲覧風景



## § 機構の活動状況

日	9月	日	10月	日	11月
10以降	都市基盤情報発信調査業務・各社ヒアリング	2以降	都市基盤情報発信調査業務・各社ヒアリング（継続） 28 土地活用モデル大賞表彰式・土地月間記念講演会	4	市街地再開発事業の円滑な推進方策に関する意見交換会（国交省） 2～13 都市基盤情報発信調査業務・各社ヒアリング（継続） 13 公的不動産を活用した連鎖型再開発事業等に関するWG（国交省） 18 調査研究報告会、講演会、意見交換会

### 【機構関係諸団体】

#### 《都市地下空間活用研究会》

1	仙台	1	企画運営小委員会コア会議	6	芝浦工大中村研究室打合せ
4	土木学会地下シンポ実行委員会	2	G空間関係打合せ	10	森ビル対応
7	見学会（品川）	5	芝浦工大中村研究室打合せ	10	竹中工務店対応
14	NTT 空間情報打合せ	5	土木学会	11	エンジニアリング協会
15～18	土木学会全国大会（岡山）	6	八重洲分科会 WG	16	NHK 打合せ
29	地下利活用検討分科会全体会	8～9	札幌市ヒアリング（大阪分科会）	17	東京建物依頼案件対応
		16	トンネル技術協会打合せ	18	森ビル対応
		19～22	上海	20	地下利活用検討分科会コア会議
		23	NTT 打合せ	26	企画運営小委員会コア会議
		23	東京建物打合せ	28～	北京
		27	同済大打合せ		
		29	都市懇サロシ講演会		

#### 《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

2	第1回都市基盤施設整備見学会・都市みらいプロジェクト説明会<品川シーズンテラス>	1	第26回合同講演会<PPP/PFIなど公民連携の推進について>	1	第27回技術研究発表会 論文HP公開
18	第26回都市みらい・地下研・UIT合同講演会募集締切	6	第27回技術研究発表会 第22回交流展示会 参加募集開始	10	第27回技術研究発表会 <I論文 IIプロジェクト・技術報告>
28	第31回技術研究発表委員会（論文審査委員会）	15	第27回技術研究発表会 概観HP公開	10	記念講演会<都市再生とマネジメントについて>
		30	第27回技術研究発表会・記念講演会 参加募集締切	10	第22回交流展示会

#### 《まちづくり情報交流協議会》

16	全国研修会 出欠回答締切	6	全国研修会（北海道北見市）	10	UIT第22回交流展示会にてまち交大賞パネル展示
30	平成27年度年会費納入について 発出	7	全国研修会（北海道北見市）	17	まち交マガジン第13号 発出
		15	まち交マガジン第11号 発出	17	アンケート「民間事業の動向等、公共・公益施設の更新に関する調査」の結果の報告
		16	まち交マガジン第12号 発出	18	調査研究報告会にて第10回まち交大賞について報告
		19	今年度の「立地適正化計画実務勉強会」について 発出		
		30	平成27年度年会費納入期限		

### （一財）都市みらい推進機構

住所 東京都文京区関口1-23-6  
 プラザ江戸川橋ビル201号  
 電話 03-5261-5625  
 FAX 03-5261-5629  
 Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい  
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・都市再生整備計画事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援
- ・エリアマネジメント企画 他